

仁淀川水系の概要と流域治水の取組



令和7年1月8日

国土交通省四国地方整備局

高知河川国道事務所



流域治水

本日の話題

1. 仁淀川流域の概要

2. 過去の洪水被害と対策

3. 流域治水の取組

仁淀ブルー（にこ淵）



安居溪谷の紅葉（仁淀川町）



画像提供：一般社団法人仁淀ブルー観光協議会

仁淀川流域の概要

名越屋沈下橋（日高村）



画像提供：日高村

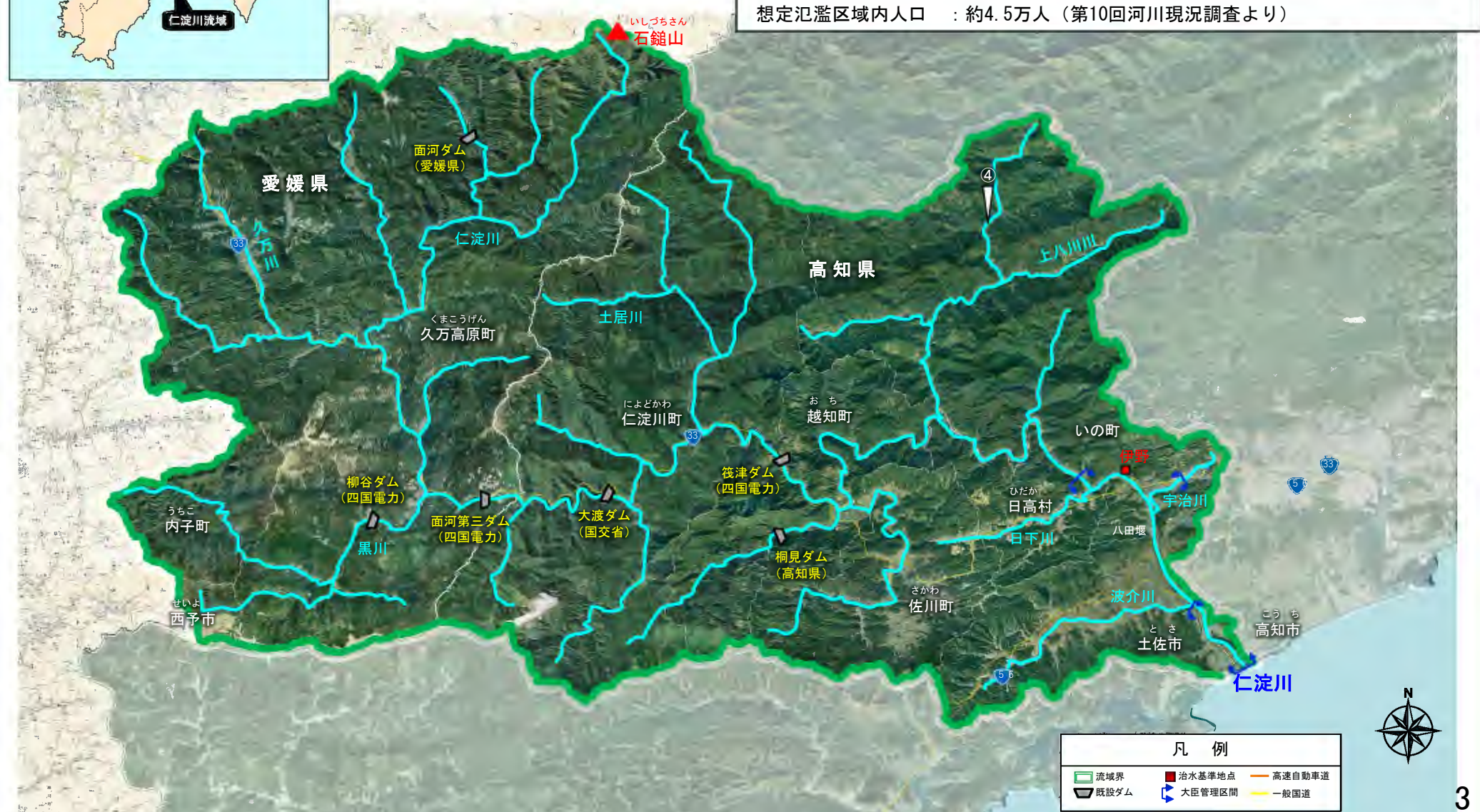
紙のこいのぼり（いの町）



仁淀川流域図



流域面積（集水面積）：1,560km²
 幹川流路延長：124km（うち直轄管理区間25.78km）
 流域内市町村：3市6町1村（高知市、土佐市、いの町、佐川町、越知町、仁淀川町、日高村、西予市、久万高原町、内子町）
 流域内人口：約9.3万人（第10回河川現況調査より）
 想定氾濫区域面積：57.1km²
 想定氾濫区域内人口：約4.5万人（第10回河川現況調査より）

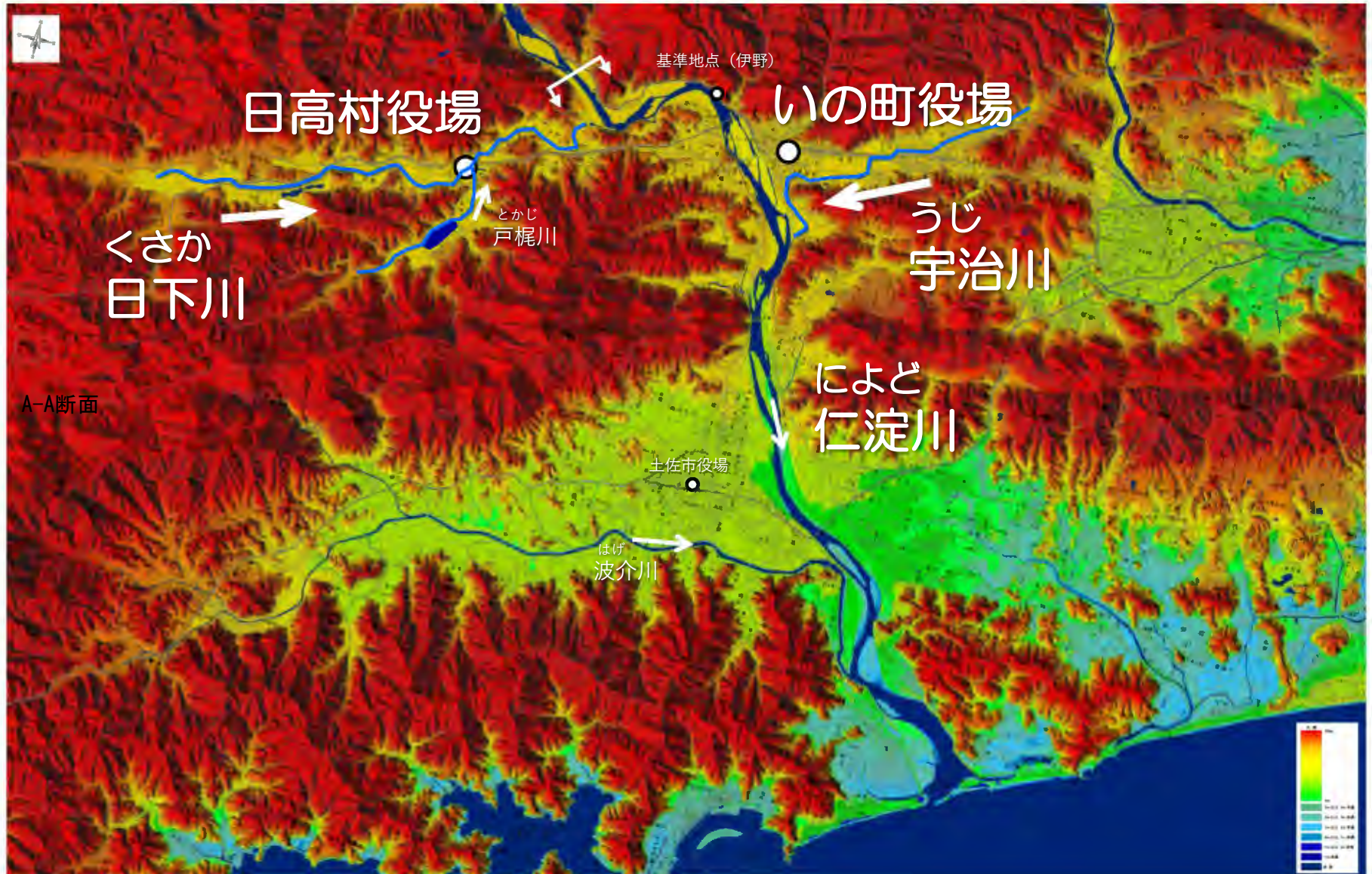


凡例					
	流域界		治水基準地点		高速自動車道
	既設ダム		大臣管理区間		一般国道



地形的特徴

- 下流域で合流する支川は河床勾配が極めて緩く、低奥型地形であるため、仁淀川本川の影響を受けやすく、過去から内水被害が多発



地形的特徴：いの町役場周辺



地形的特徴：日高村役場周辺



An aerial photograph showing a city street completely inundated with floodwater. The water is a muddy brown color, and the surrounding urban area is also partially submerged. A large white text box is overlaid on the center of the image.

過去の洪水被害と対策

昭和50年8月台風第5号による土佐市市街地の浸水

仁淀川流域における過去の洪水被害

洪水発生日		要因	伊野上流 2日雨量 (mm)	伊野地点 実績最大流量 (m ³ /s)	被害状況
西暦	洪水日				
1961	昭和36年 9月16日	台風第18号	457	7,285	浸水面積409ha 床上浸水15戸、床下浸水49戸
1963	昭和38年 8月9日	台風第9号	530	13,514	浸水面積3,769ha、家屋全壊3戸 床上浸水1,569戸、床下浸水289戸
1970	昭和45年 8月21日	台風第10号	249	6,932	浸水面積4ha 床上浸水0戸、床下浸水1戸
1975	昭和50年 8月17日	台風第5号	528	13,461	浸水面積4,880ha、家屋全・半壊2,128戸 床上浸水5,272戸、床下浸水1,792戸
1982	昭和57年 8月27日	台風第13号	396	8,899	浸水面積547ha 床上浸水20戸、床下浸水43戸
1993	平成5年 8月10日	台風第7号	356	8,997	浸水面積86ha 床上浸水26戸、床下浸水113戸 ※1
1997	平成9年 9月16日	台風第19号	332	9,340	浸水面積88ha 床上浸水24戸、床下浸水205戸 ※2
2004	平成16年 10月20日	台風第23号	342	9,080	浸水面積115ha 床上浸水81戸、床下浸水226戸
2005	平成17年 9月6日	台風第14号	562	10,997	浸水面積105ha 床上浸水85戸、床下浸水109戸 ※3
2007	平成19年 7月14日	台風第4号	411	9,859	浸水面積583ha 床上浸水14戸、床下浸水52戸
2014	平成26年 8月3日	台風第12号	574	6,671	浸水面積635ha 床上浸水271戸、床下浸水237戸
2014	平成26年 8月10日	台風第11号	515	8,722	浸水面積566ha 床上浸水59戸、床下浸水240戸
2019	令和元年 10月3日	台風第18号	136	5,070	浸水面積33ha 床上浸水13戸、床下浸水41戸

被害状況は水害統計調査及び市町村聞き取りによる。

※1 5月21日～8月21日
(梅雨、台風第4,5,6,7号の合算値)

※2 9月12日～9月17日
(豪雨及び台風第19号の合算値)

※3 9月3日～9月8日
(豪雨及び台風第14号の合算値)

日下川・宇治川 治水対策の経緯

日下川・宇治川におけるこれまでの主な治水対策

昭和20年代～50年代

日下川	宇治川
昭和21年南海地震 仁淀川下流部一帯で大きな地盤沈下発生（約60cm）	
南海地震地盤変動対策事業（S28～S41）	
派川日下川放水路（県）	宇治川放水路（県）
昭和50年8月洪水	
河川激甚災害対策特別緊急事業（S51～S57）	
日下川放水路（国）	宇治川排水機場増設（国） 早稲川放水路（県） 河川改修（国）

昭和60年代

中小河川改修事業 広域基幹河川改修事業 （S50～H23）	浸水被害が頻発
岡花調整池（県） 馬越調整池（県） 河川改修（県）	宇治川床上浸水対策特別緊急事業（H7～H19）
	宇治川排水機場増設（国） 新宇治川放水路建設（国） 河川改修（国）

平成26年

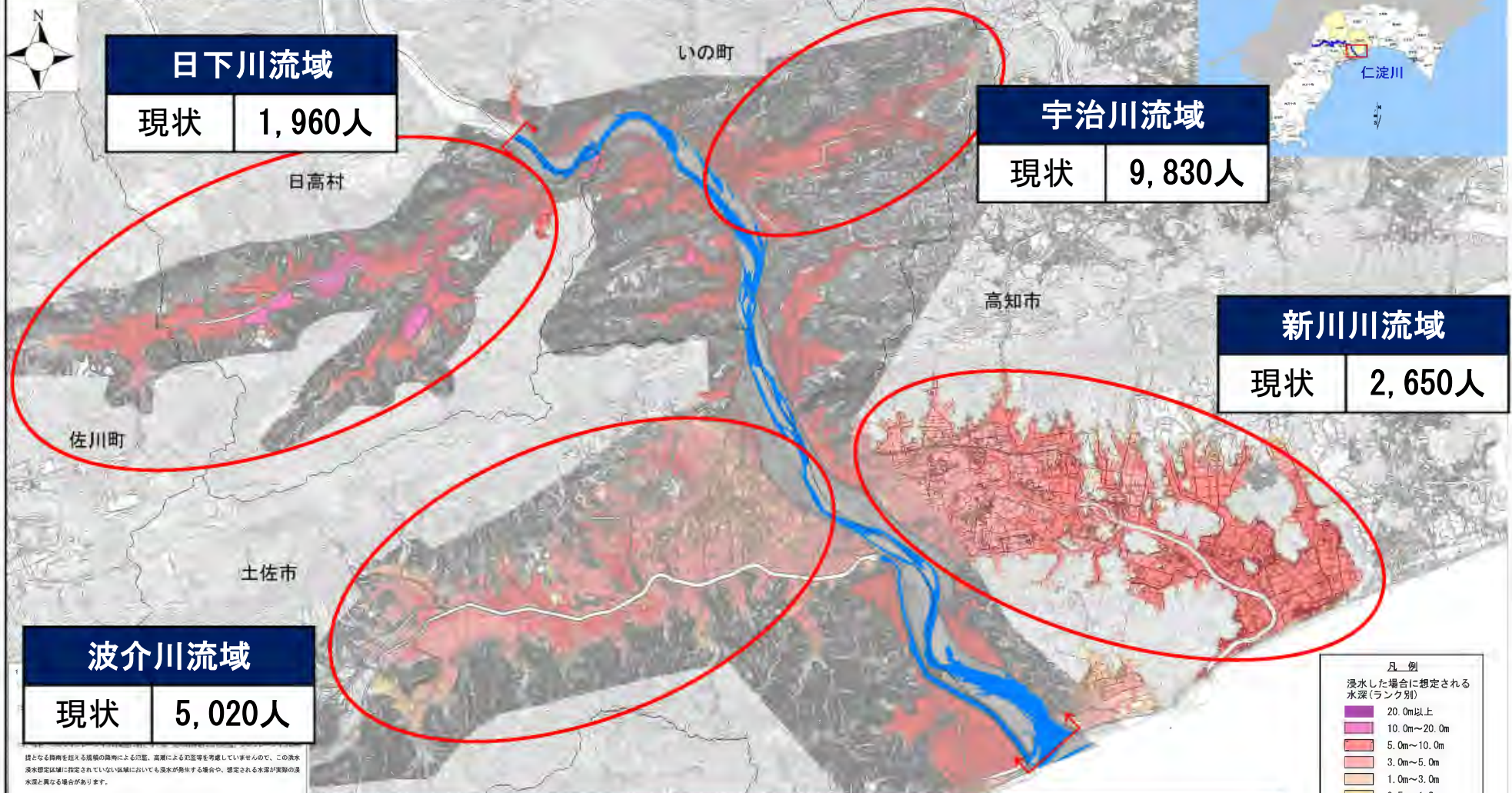
平成26年8月洪水 台風第12号、台風第11号	
日下川床上浸水対策特別緊急事業（H27～R4）	宇治川床上浸水対策特別緊急事業（H27～R5）
新日下川放水路（国） 河川改修（県） 輪中堤建設等（村）	宇治川排水機場増設（国） 河川改修（県） 雨水ポンプ場整備等（町）



想定最大規模洪水に対する「命の危険がある人」の試算

※**命の危険がある人**：家屋倒壊する建物に居住・入所、浸水する階しかない家屋に居住、福祉施設で浸水する階に入所している人

位置図



日下川流域
現状 1,960人

宇治川流域
現状 9,830人

新川川流域
現状 2,650人

波介川流域
現状 5,020人



想定最大規模の洪水が発生した場合、例えばいの町では・・・

- ほぼ全域が5m以上浸水するなど、堤防が破堤すると甚大な被害が想定される。
- 命の危険がある人は、宇治川流域では1万人近く存在すると試算される。

※令和3年度試算。簡略化のためブロック毎に代表1点破堤としている。

2 基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省河川防災課高知河川事務所

(2) 指定年月日 令和2年3月10日

(3) 告示番号 国土交通省河川防災課告示第21号

(4) 河川の経路等 水防法(昭和24年法律第103号)第14条第1項及び2項

(5) 対象となる洪水争報河川

・仁淀川水系仁淀川(決壊)

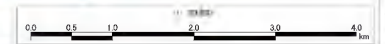
左岸：高知県高岡郡いの町和加田字又田第2473番の1地先から海まで

右岸：高知県高岡郡白高村下分字上の首2553号地先から海まで

(6) 指定の想定となる降雨 仁淀川流域の4.8時間総雨量90.4mm

(7) 浸水想定区域 高知市、土佐市、いの町、日高村、佐川町

※！浸水想定区域は想定最大規模の洪水によるもので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



流域治水の取組



仁淀川における「流域治水」の目標と3方策

氾濫を減らす



- 河川での対策（堤防をつくる、強化する、川底を掘る）
- 上流域で雨を貯める
- 土砂の流出を抑える 等

備えて住む



- 建物の複数階化・構造強化
- 病院・福祉施設のベッドを2階以上へ 等

みんなでそなえよう
仁淀川 流域治水

安全に逃げる



- 安全な避難場所の確保
- 早く逃げるための情報提供
- 避難路浸水の防止 等

3方策が連携・補完しあうことで、流域全体で総合的に治水力アップ！

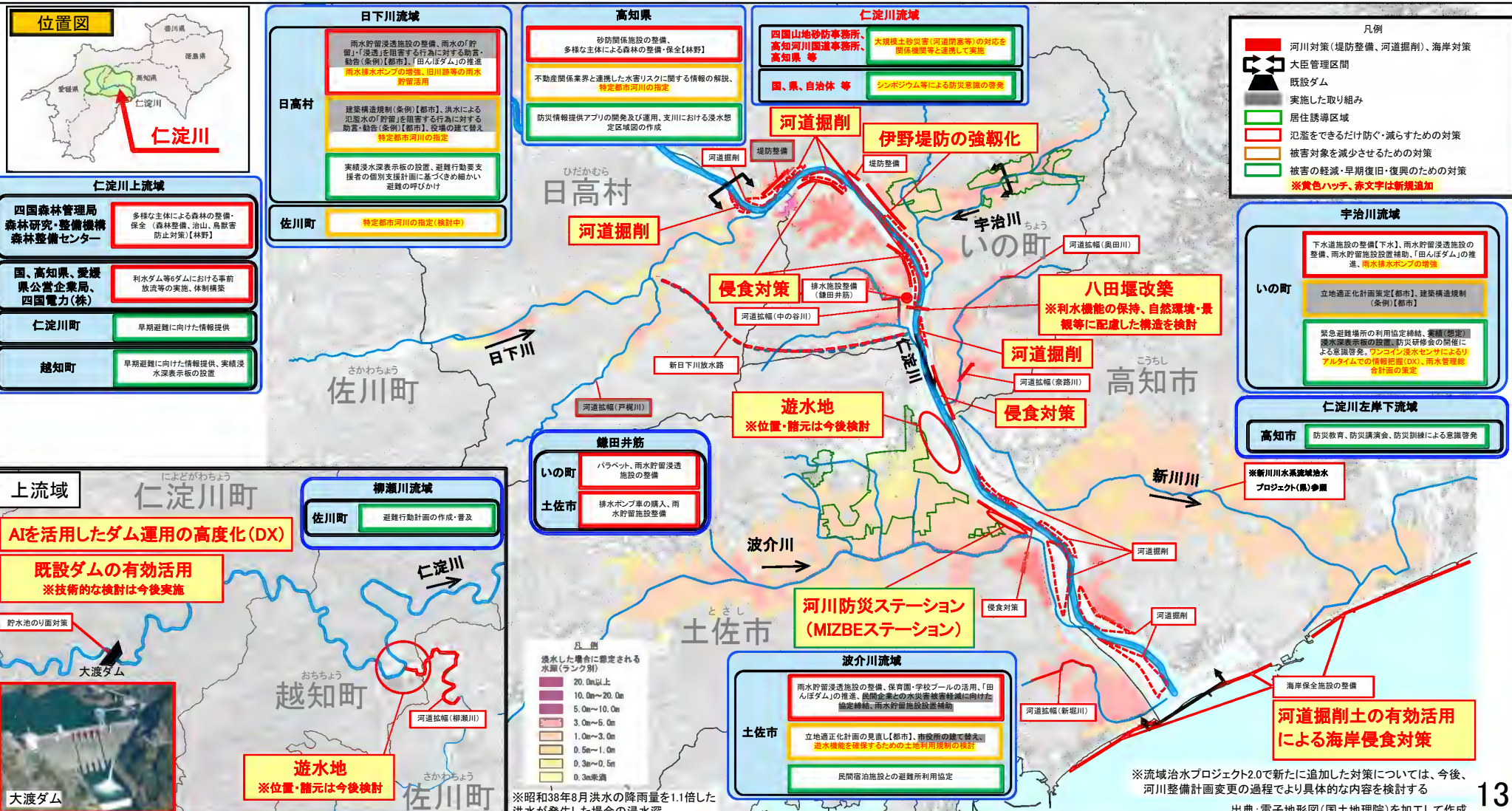
⇒どんな洪水が発生しても「犠牲者ゼロ」となる状態を目指す！

仁淀川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

R5.8策定

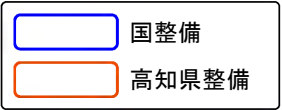
～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る流域治水対策の推進～

- 仁淀川では、本川国管理区間において、戦後最大流量を記録した昭和38年8月洪水が、気候変動（2℃上昇）を考慮し流量が増加した場合においても（降雨量を1.1倍とした場合）、目標とする治水安全度を確保し、追加の対策により浸水被害の防止又は軽減を図る。
- そのため、既設ダムの有効活用、遊水地の整備により洪水を貯留するとともに、河道掘削、堰改築により洪水を安全に流下させる。
- また、計画規模を超える洪水が発生した場合でも、伊野堤防の強靱化、防災ステーション等の整備により被害の軽減や早期復旧を図る。
- 支川や集水域、氾濫域においても、特定都市河川浸水被害対策法の適用、「田んぼダム」の推進など、更なる治水対策を推進する。



国・高知県による対策（氾濫を減らす）：河川整備計画の変更

●仁淀川水系河川整備計画を変更（令和6年9月30日）



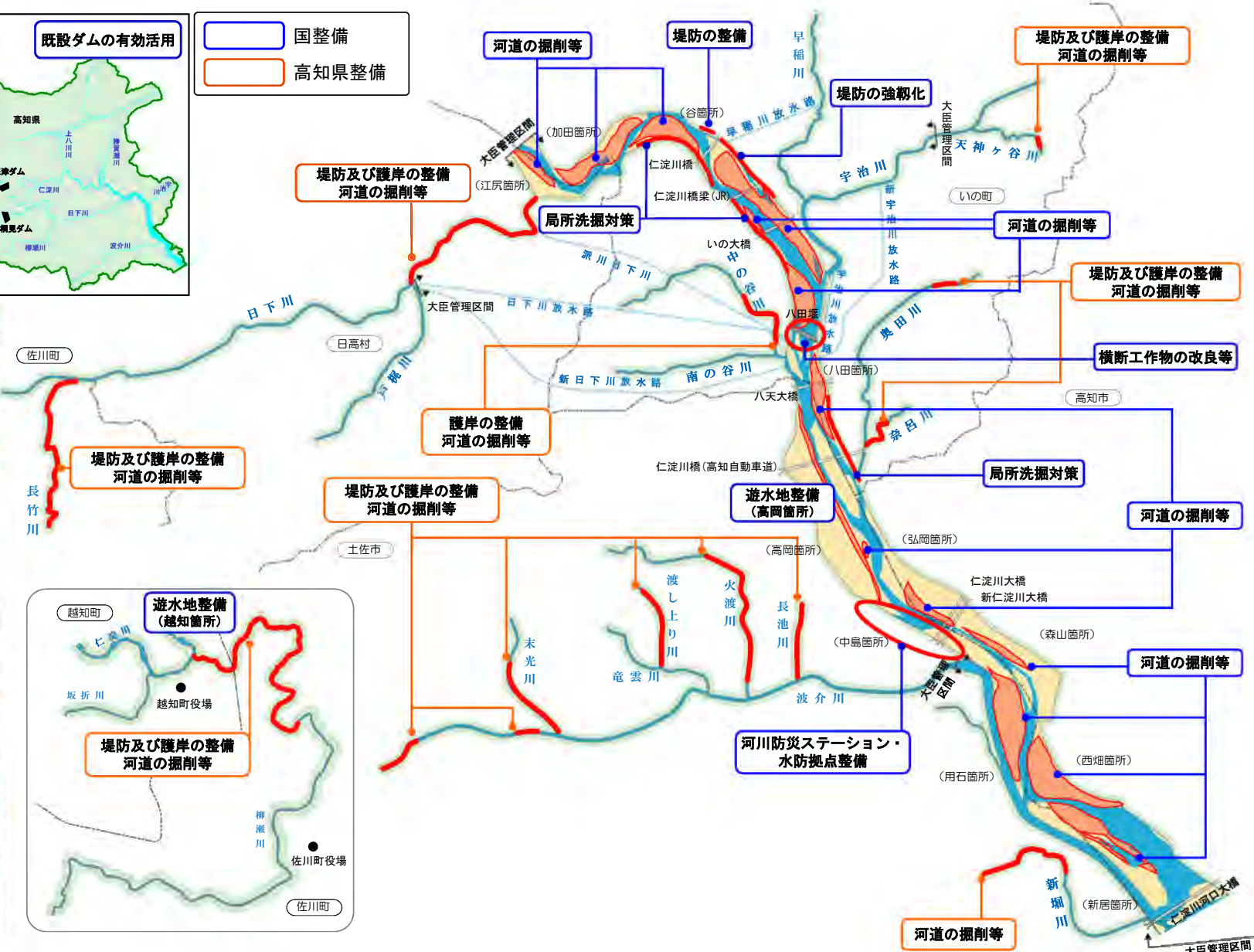
▲遊水地候補地（越知箇所）



▲遊水地候補地（高岡箇所）

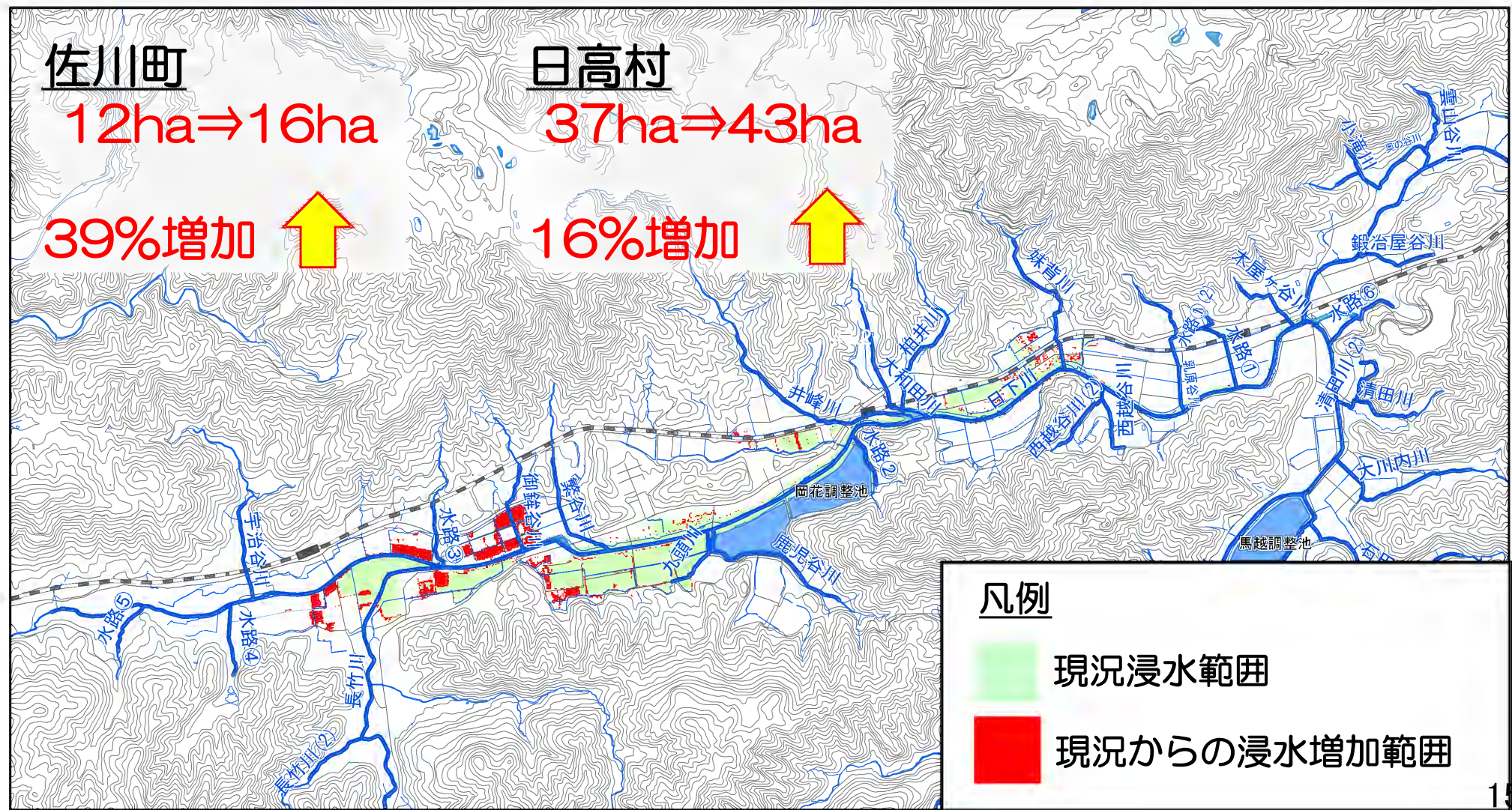


▲横断工作物の改良等



国による技術的支援：開発による影響の試算

- 平地の農地の30%が宅地や店舗等として開発され、必要な対策工事を行わなかった場合の浸水被害の変化を試算（開発による雨水流出率の増加の影響）



国による技術的支援：危機感共有のためのWEB会議等

- 台風接近時等に、今後の見通しや各自治体等の体制を共有するための「危機感共有WEB会議」を開催
- 高知地方気象台、高知県、流域市町村及び大渡ダム管理所が参加
- SNSを通じて対応状況を一般向けにも発信

危機感共有WEB会議




(令和4年9月18日)




(令和6年8月27日)

SNS (X) による情報発信

 国土交通省 高知河川国道事務所
@mlit_kochi

8月30日から31日にかけて台風10号の接近が予想されます。浸水発生に備え、いの町大内、土佐市天崎に #排水ポンプ車 を事前配置しました。
天崎には国土交通省及び土佐市所有のポンプ車2台を合同で配置しています。
#仁淀川 の水位上昇、今後の台風情報にご注意ください。
#川の防災情報



 国土交通省 高知河川国道事務所
@mlit_kochi

8月29日14時頃の新日下川放水路と日下川放水路の呑口付近(日高村下分)の通水状況です。
通水により河川の水位を下げ、浸水対策の役割を担っています。
現在も通水していますが、#台風10号 が近づいていますので、引き続きご注意ください。
#水しごと #川の防災情報 #高知県 #放水路





ご静聴ありがとうございました



The Niyodo River 18